

# 慢性期の深い褥瘡に対する外用薬の選択

一般社団法人 日本褥瘡学会 編集：褥瘡予防・管理ガイドライン準拠 褥瘡ガイドブック第3版 を基に作成

評価項目	DESIGN-R褥瘡評価	外用薬(一般名)
滲出液	E→e	滲出液多：カデキソマー・ヨウ素、精製白糖・ポビドンヨード、デキストラノマー 滲出液少：スルファジアジン銀(感染創)、トレチノイントコフェリル(非感染創)、乳剤性基剤の軟膏
炎症/感染	I→i	カデキソマー・ヨウ素、精製白糖・ポビドンヨード、スルファジアジン銀、 <b>ヨードホルム</b>
肉芽形成	G→g	トレチノイントコフェリル、トラフェルミン、精製白糖・ポビドンヨード、ブクラデシンナトリウム、アルプロスタジルアルファデクス 臨界的定着の疑い：カデキソマー・ヨウ素、スルファジアジン銀、精製白糖・ポビドンヨード
壊死組織	N→n	カデキソマー・ヨウ素、スルファジアジン銀、デキストラノマー、ブロメライン、精製白糖・ポビドンヨード、 <b>ヨードホルム</b>
ポケット	P→(-)	滲出液多：精製白糖・ポビドンヨード 滲出液少：トラフェルミン、トレチノイントコフェリル

## 外皮用殺菌消毒剤 **タマガワヨードホルムガーゼ**

《感染のある創傷・壊死組織が残存した深い潰瘍への使い方》



スマホで  
確認  
使い方

監修：医療法人愛生館 小林記念病院  
褥瘡ケアセンター長  
古田 勝経 先生  
(国立長寿医療研究センター薬剤部研究員)

### 1 洗 浄

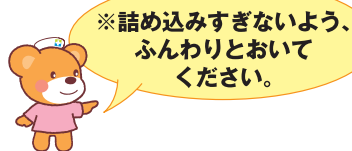


創内の異物、残渣を生理食塩液などで洗浄します。

### 2 創面におく



創の大きさに合わせ適当なサイズ(目安：創傷・潰瘍の底面積の2倍程度)にカットし、軽く折りたたんで創面におきます。滲出液が少ない場合は、少量の生理食塩液で湿らせます。

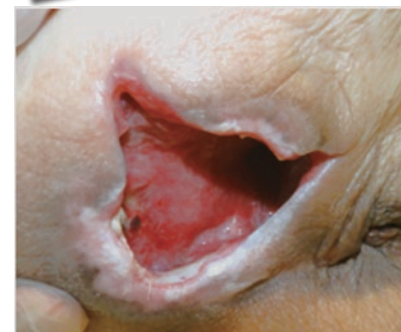


### 3 被 覆



深い創の場合は、死腔をつくらないようにヨードホルムガーゼの上にガーゼ、又はさばきガーゼを軽くのせます。必要に応じてフィルム材で被覆します。

### 4 交 換



創の状態を診て、1日1~2回交換します。壊死組織がなくなり、創が清浄化して、きれいな肉芽が出てきたらヨードホルムガーゼの使用を終了します。

外皮用殺菌消毒剤 (一般名: ヨードホルム)

# タマガワヨードホルムガーゼ



電子化  
添付文書は  
こちら

## Drug Information

タマガワヨードホルムガーゼは消毒性包帯材料として用いる外皮用殺菌消毒剤です。

**感染のある創傷、壊死組織が残存した**

**感染の恐れのある深い潰瘍に適しています。**

タマガワ  
ヨードホルムガーゼ 5m  
30cm×5m

調剤包装単位コード



(01)04901957070312



タマガワ  
ヨードホルムガーゼ 裁断  
30cm×30cm・15枚入

調剤包装単位コード



(01)04901957070336



### 2. 禁忌(次の患者には投与しないこと)

- 2.1 ヨード過敏症の患者 [8.1,9.1.1 参照]
- 2.2 腎障害のある患者 [9.2 参照]
- 2.3 心障害のある患者 [13. 参照]

### 3. 組成・性状

#### 3.1 組成

		タマガワ ヨードホルムガーゼ	
		30cm×30cm	30cm×5m
有効成分	日本薬局方 ヨードホルム	0.33g	5.5g
添加剤	日本薬局方 流動パラフィン (揮散防止剤)		

#### 3.2 製剤の性状

		タマガワ ヨードホルムガーゼ	
		30cm×30cm	30cm×5m
形状		ガーゼ	
色		淡黄色	
におい		ヨードホルムのおい	

### 4. 効能又は効果

創傷・潰瘍の殺菌・消毒

### 6. 用法及び用量

消毒性包帯材料として用いる。

### 8. 重要な基本的注意

- 8.1 ショック等の反応を予測するため、使用に際してヨウ素製剤に対する過敏症の既往歴、薬物過敏体質の有無については十分な問診を行うこと。 [2.1,9.1.1 参照]
- 8.2 ヨード中毒を起こすことがあるので、血中総ヨウ素濃度の測定を行うなど、十分な観察を行うこと。 [11.1.1 参照]

### 9. 特定の背景を有する患者に関する注意

- 9.1 合併症・既往歴等のある患者
  - 9.1.1 薬物過敏症の既往歴のある患者 (ただし、ヨード過敏症の患者には投与しないこと) [2.1,8.1 参照]

### 9.1.2 甲状腺機能に異常のある患者

ヨードホルムの使用により血中ヨウ素値の調節ができず、甲状腺ホルモン関連物質に影響を与える可能性がある。 [11.1.1 参照]

### 9.2 腎機能障害患者

使用しないこと。本剤の主たる排泄臓器は腎臓であり、腎機能低下患者では血中総ヨウ素濃度が著しく上昇することがある。 [2.2 参照]

### 9.5 妊婦

治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。

### 9.6 授乳婦

授乳を避けさせること。ヒト母乳中へ移行し、新生児に一過性の甲状腺機能低下を起こしたとの報告がある。

### 11. 副作用

次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には使用を中止するなど適切な処置を行うこと。

#### 11.1 重大な副作用

##### 11.1.1 ヨード中毒(頻度不明)

以下のような症状を起こすことがあるので、異常が認められた場合には使用を中止し、十分洗浄して適切な処置を行うこと。 [8.2,9.1.2,13 参照]

- ・精神神経系: 興奮、せん妄、不穏、見当識障害、記憶障害、抑うつ、昏睡、失神、傾眠、不眠(睡眠障害)等
- ・消化器: 食欲不振等
- ・その他: 頭痛、全身倦怠感、頻脈等

※こちらは添付文書の内容を抜粋したものです。最新の情報は電子化された添付文書をご確認ください。

※ヨードホルムガーゼは薬価基準未収載医薬品です。

### 11.2 その他の副作用

	0.1%未満
過敏症	そう痒感、ヨード疹、蕁麻疹様発疹、紅斑、丘疹、水疱等
皮膚	灼熱感等

### 12. 臨床検査結果に及ぼす影響

血漿たん白結合ヨード (PBI) 及び甲状腺放射性ヨード摂取率の検査値に影響を及ぼすことがある。

### 13. 過量投与

ヨードホルム 1 回 4 g 局所に塗布した例で、ヨード中毒及び心筋の変性による心臓衰弱のため死亡したとの報告がある。 [2.3,11.1.1 参照]

### 14. 適用上の注意

#### 14.1 薬剤使用時の注意

- 14.1.1 目に接触しないように注意すること。接触した場合は、水でよく洗い流すこと。
- 14.1.2 長期間又は広範囲に使用しないこと。
- 14.1.3 ヨードホルムの結晶が析出している場合は、使用しないこと。
- 14.1.4 石けん類は、本品の殺菌作用を弱めるので、石けん成分を洗い落としてから使用すること。

### 15. その他の注意

#### 15.1 臨床使用に基づく情報

本剤はヨウ素含有製剤であるので多量使用及び長期連用時には甲状腺機能の変動に注意すること。

製造販売元  
玉川衛材株式会社  
東京都千代田区富士見1-8-19  
https://www.tamagawa-eizai.co.jp

玉川衛材(株)お客様相談窓口  
TEL.03-4334-8857  
受付時間 10:00~17:00(土・日・祝日を除く)

**タマガワエーザイ**

<参考文献> 古田 勝経: 日本褥瘡学会誌, 13(2), 117-122 (2011)  
Mizokami et al.: Biol. Pharm. Bull., 35(7), 1048-1053 (2012)